

電子カルテ管理によるリーダーワークシートの導入

朝倉医師会病院 3階西病棟

○尾畑世利果 赤峰敏廣 和田美奈子 高山美伽

【目的】

従来のリーダーワークシート(以降ワークシートとする)は、深夜帯で前日の情報を整理し、手書きで一覧表に記入していた。しかし、手書きの作業は苦痛との意見が出ていた。その理由として①多くの情報を整理し要点を記入する②手書きであるため、誰でもわかり易い文字が必要③限られた枠内で記入する難しさ④ナースコールや巡視、体位変換やおむつ交換で中断される⑤疲労で集中力が途絶える。などがあった。また、安定している患者の情報は、殆ど複写をしていた。これらを問題と取り上げた。新電子カルテ(以降電カルとする)へ切り替わった際に新たに計算ソフトの Excel がインストールされており、電カル内にワークシートを作成、システム課のアドバイスもあり、簡単に入力できるようになった。スタッフの一部では不安な意見も出ていたが、現在活用出来ている。スムーズに導入できたことを振り返り、今後の課題を明らかにしたので報告する。

【方法】

研究期間：平成 28 年 5 月 30 日～平成 28 年 9 月 30 日まで

研究方法：夜勤スタッフへ意見交換を行い①手書きワークシートのメリット・デメリットの情報収集及び分析②電カル内にインストールされてある計算ソフトの Excel でワークシートの枠組みを作成③導入後、再びスタッフへ意見交換をおこなった。

【結果・考察】

一般的に「パソコンのキーボード操作の場合、ブラインドタッチなど熟練していれば、手書きで文章を作るよりも遥かに効率が良い」「不意の誤字脱字を防げるという点は大きなメリットがある」と述べられてある。意見交換では、研究目的にも示したほかに、情報をどれだけ伝達できるのか、適切な言葉を選ぶことで悩む。誤字脱字への不安と間違いに対する気分の落ち込みがあるなどが、あげられた。今回、パソコン管理とすることを提案した理由として、電カルで看護記録を行っているため、文章入力に関してスタッフが、すでに経験出来ている事や、パソコン入力が良いという意見があったことで、システム課の協力を得て、電カル内の Excel でワークシートの枠組みを作成し使用趣旨の説明を行った。結果、トラブルなくスムーズに導入を行う事ができた。現在も稼働中である。その後の意見交換で、ワークシートも短時間で作成できるようになったことや、同一書体やフォントで読み易く、アレンジした図など加わることでさらに情報が得やすくなった。しかし、誤動作で枠の修復が必要なことがあり、メンテナンスが欠かせない。メンテナンスができるスタッフが少ないこともあり、今後維持していく為の対策が必要となっている。

【まとめ】

- ① 電カル内でのワークシートの活用は、手書きより深夜勤務者の負担を軽減している。
- ② 手書きに比べ、文字や書体が同じでわかり易くなった。
- ③ 今後維持活用するために、スタッフへ勉強会を行うなど指導が必要になる。